お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ず守ること

・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告 ⚠注意 の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

🛇	絶対に行わないでください。
❗	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	**お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。**（火災・感電の原因）	禁止	**引火する危険のある雰囲気で使わない。**（火災の原因）
	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）		**器具を覆わない、カバーに何も貼り付けない。**（過熱による火災の原因）
	器具を布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		**カバーに塗料などを塗らない。**（過熱による火災の原因）
	器具の直下や近くにストーブなどの電熱器を置かない。（過熱して火災の原因）	厳守	**煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。**（火災・感電の原因）
	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）		

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**光を直視しない。**（長時間直視すると目を痛める原因）	厳守	**明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。**（発火・感電・落下の原因）不具合があったら、そのまま使用しないで工事店または電気店に修理を依頼する。

・照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。

・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
・点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。（JIS C 8105-1 解説による。）

器具の清掃

⚠警告 電源を切ってから行う。（感電の原因）

⚠注意 点灯中及び消灯直後の器具には触らない。（高温のためやけどの原因）

＜器具のお手入れについて＞ 器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

＜カバーのお手入れについて＞ カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。

お知らせ

・点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。
・LEDにはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同形状の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
・LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては色ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
器具毎に壁面照射部の色見が異なる場合があります。ご了承ください。

保証について

・無償修理
照明器具の商品納入日より１年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。

・無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

異常時の処置

⚠警告 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓口 照明技術相談センター
フリーダイヤル 0120-348-027（無料）
受付時間 9時～17時（土・日・祝日は除く）
FAX (0467) 46−8861

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

E771Z262H50

保管用

MITSUBISHI ELECTRIC

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきましてありがとうございます。

三菱 LED 照明器具

LEDブラケット

形名 EL−V1010L/W AHN　EL−V1010N/W AHN
EL−V1510L/W AHN　EL−V1510N/W AHN
EL−V2010L/W AHN　EL−V2010N/W AHN

取扱説明書

・この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、また、アフターサービスもできません。
・電源周波数 50Hz、60Hz 共用ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

・施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
・取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告 ⚠注意 の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

🛇	絶対に行わないでください。
❗	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	**引火する危険のある雰囲気で使用しない。**（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない。）（火災の原因）	禁止	**配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。**（絶縁破壊により感電・火災の原因）
	器具取付けの際、電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）		**表示された電源電圧以外では使わない。**（火災・感電の原因）
	高温（35℃を超える）、高湿度（85％RHを超える）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）		**風呂場など湿気の多い場所で使わない。**（火災・感電の原因）
	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）		**器具を覆わない、カバーに何も貼り付けない。**（過熱による火災の原因）
	壁付け専用器具です。天井には取付けないでください。（落下の原因）		**カバーに塗料などを塗らない。**（過熱による火災の原因）
		厳守	**施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程、取扱説明書に従い行う。**（施工不備により、火災・落下・感電の原因）

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。**（劣化による落下の原因）	禁止	**調光器（ライトコントローラー）と併用しない。**（火災・感電の原因）
	雨水のかかる場所で使わない。（水気・湿気が入り感電の原因）		**器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。**（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）
	ドアの開閉で当たる部分に照明器具を取付けない。（破損して落下の原因）		**風が吹く場所で使わない。**（落下の原因）

お願い

・周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
・温泉地など、腐食性ガスが発生する場合での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。

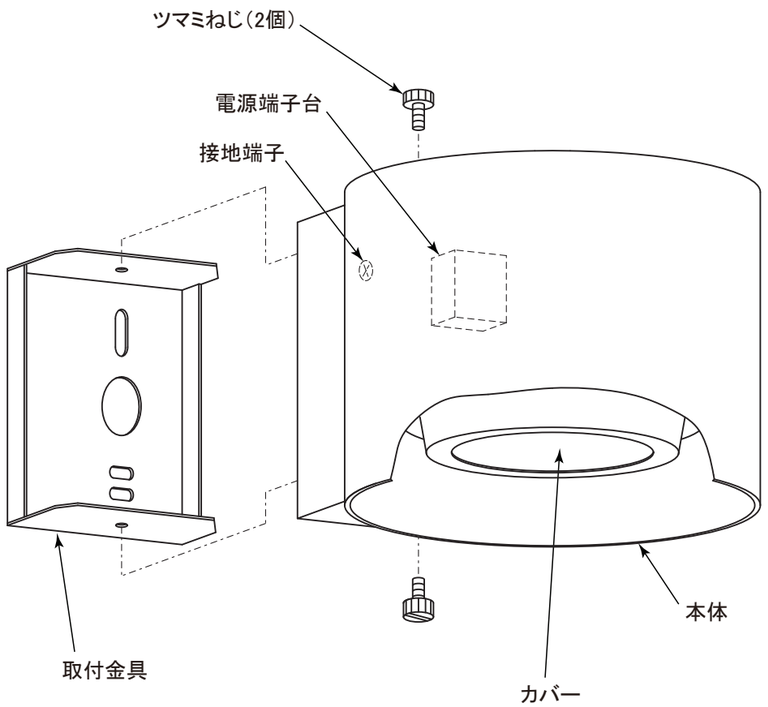
定格

形名	定格電圧	周波数	入力電流			消費電力		
			100V	200V	242V	100V	200V	242V
EL−V1010L/W EL−V1010N/W	AC100 −242V	50/60Hz	0.070A	0.036A	0.031A	6.9W	6.9W	6.9W
EL−V1510L/W EL−V1510N/W	AC100 −242V	50/60Hz	0.124A	0.061A	0.052A	12.2W	12.0W	12.1W
EL−V2010L/W EL−V2010N/W	AC100 −242V	50/60Hz	0.155A	0.079A	0.067A	15.3W	15.1W	15.2W

各部のなまえと取付けかた

⚠警 告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

【附属品】
木ねじ 2本



1 取付前の確認

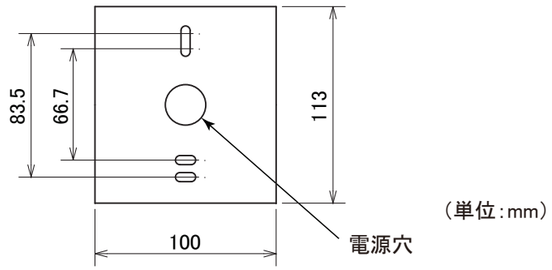
取付面が器具質量（2.0Kg）に耐えられるか、取付面の状態を確認する。

⚠警 告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。
（落下の原因）

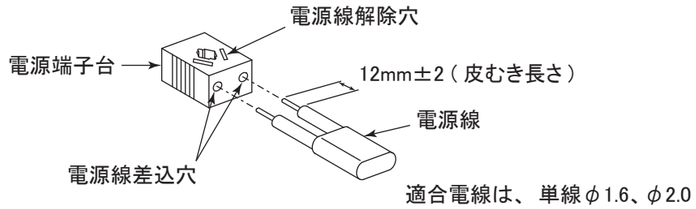
2 器具の取付

（1）電源線を取付金具の電源穴から通す。
（2）附属の木ねじ2本で取付金具を壁面にしっかりと取付ける。



（単位：mm）

（3）電源線を電源端子台の電源線差込穴に確実に差し込む。

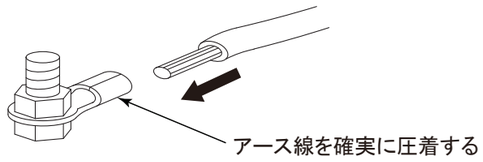


※電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを電源線解除穴にまっすぐ差し込む。

⚠警 告

・指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし１本ずつ電源端子台の奥まで差し込む。
（差込み不十分は接触不良により感電・火災の原因）
・電源線接続の際は、電源線を張った状態としない。
（接続不良による発熱で火災の原因）

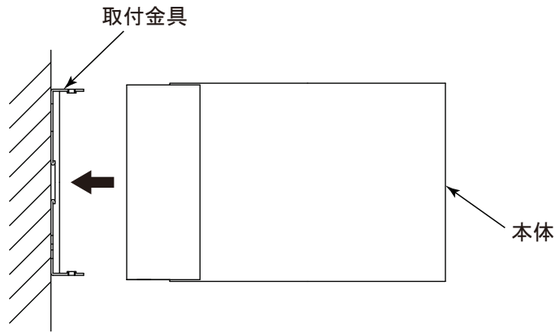
（4）アース線を器具の接地端子に圧着する。



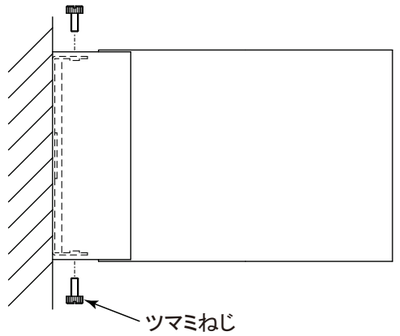
⚠警 告

・Ｄ種(第３種)接地工事を確実に行う。
（接続不備は感電の原因）
・アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

（5）取付金具に本体をかぶせる。



（6）本体をツマミねじ2個でマイナスドライバーを用いて取付金具に確実に固定する。（推奨トルク 1.0N・m）



⚠注 意

器具取付けの際は、電源線を挟まない。
（感電・火災の原因）